

日本海洋学会 2013年度第4回幹事会 議事録

日時:2013年9月17日(火) 18:00~20:30

場所:北海道大学 環境科学院D棟102

出席者:植松会長、須賀副会長、岡、小畑、神田、川合、河野、杉崎、鈴木、津田、原田、
日比谷、山中、事務局毎日学術フォーラム(出戸、平坂)

欠席者:久保田、寄高

議題

1. 議事録(案)確認(神田幹事)

2013年度第3回幹事会の議事録を確認した。

2. 審議事項

(1) 入退会について(岡・小畑幹事)

入退会(2013年6~7月)を承認した。入会34名、退会0名、逝去1名、2013年7月末現在会員数1780名。

(2) シンポジウム等の協賛・共催の依頼について(岡・小畑幹事)

7件について、すでにMLを通じて審議し承諾したことが報告された。

(3) 募集・推薦等の依頼について(岡・小畑幹事)

公募・推薦の依頼、その他シンポジウム・講演等の案内について、適宜MLを通じて周知、対処したことが報告された。

(4) 海洋未来技術研究会海外渡航援助について(須賀副会長)

追加募集に対して11件の応募があり、審議の結果2件を採択することとなった。

(5) 2014・2015年春季大会開催について(鈴木幹事)

2014年春季大会若手ポスター賞について、賞状を学会長名にしたいという大会事務局からの提案があり、大会実行委員長と連名とすることを条件に認められた。また、2015年度春季大会プログラム編成について、大会実行委員会からの依頼に応じて、幹事会がプログラム編成作業を手伝うこととした。

(6) 海の研究の出版社について(岡・小畑幹事)

冊子体の印刷費用などを比較検討した結果、印刷会社を変更することが提案され、審議の上承認された。

(7) 2013年秋季評議会議事次第案について(岡・小畑幹事)

議事次第の説明があり、担当者と資料の確認を行った。報告事項のない委員会・研究会等については会長が口頭で言及することとした。

3. 報告事項

(1) 植松会長

「6本の矢」として掲げた目標について、現在の状況が報告された。

(2) 会計（河野幹事）

財政状況と収支見込についての報告があった。

(3) 編集

(a) J0（日比谷幹事）

順調に発行していることが報告された。自己剽窃の疑義がある論文について報告があった。調査結果に基づき J0 編集委員会で審議する予定である。編集委員の退任を受けて後任候補を選定中である。

(b) 海の研究（岡幹事）

発行状況について報告があった。順調に発行している。

(c) ニュースレター（津田幹事）

発行状況について報告があった。

(4) 研究発表（鈴木・山中幹事）

2015 年度秋季大会は愛媛地区会員のお世話により開催される予定である。

(5) 選挙（鈴木・山中幹事）

各賞可否投票・賞選考委員の半数改選について今後の予定が報告された。

(6) 広報（杉崎・原田幹事）

今回の秋季大会についてプレスリリースを行い、2 件の取材申し込みがあった。

(7) 日本地球惑星科学連合（原田・寄高幹事）

代議員選挙が行われている。

(8) 海洋未来技術研究会（須賀副会長）

海外渡航支援について、今回の秋の臨時募集に対して多くの応募があったことから、来年度はあらかじめ 2 期に分けて募集を行うこととした。

(9) 若手支援（須賀副会長）

補助を行った集会在無事に終了し、後日報告書が提出される予定である。また、秋季大会期間中に若手会員との交流会を開催することが紹介された。

(10) その他

（河野幹事）

学会の参加登録管理について、新たな業者との契約により大幅な値引きが実現した。今後も継続して契約する場合、さらなる値引きが可能である。

（須賀副会長）

海洋汚染に関する問い合わせがあった場合、海洋学会としての対応を検討してほしいという要望が会員から寄せられた。今後の検討事項としたい。

次回幹事会 11 月 22 日（金）会場は未定